



# 長野県鉱工業指数 平成29年3月分(速報)をお知らせします

## 概況

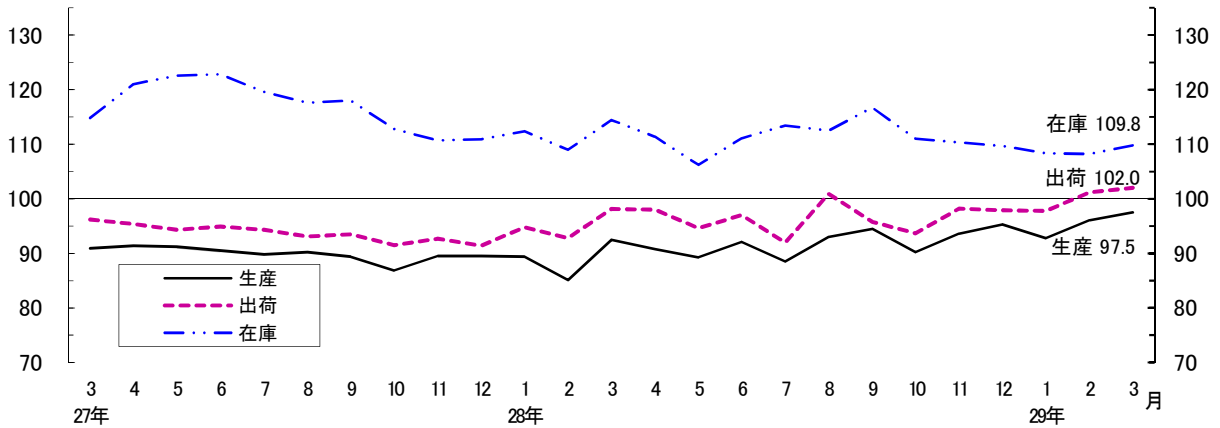
平成29年3月の長野県鉱工業指数は、前月比(季節調整済指数)で、生産は1.5%と2か月連続の上昇、出荷は0.8%と2か月連続の上昇、在庫は1.5%と6か月ぶりの増加となりました。

前年同月比(原指数)では、生産は5.5%と8か月連続の上昇、出荷は4.0%と8か月連続の上昇、在庫は△4.0%と20か月連続の低下となりました。

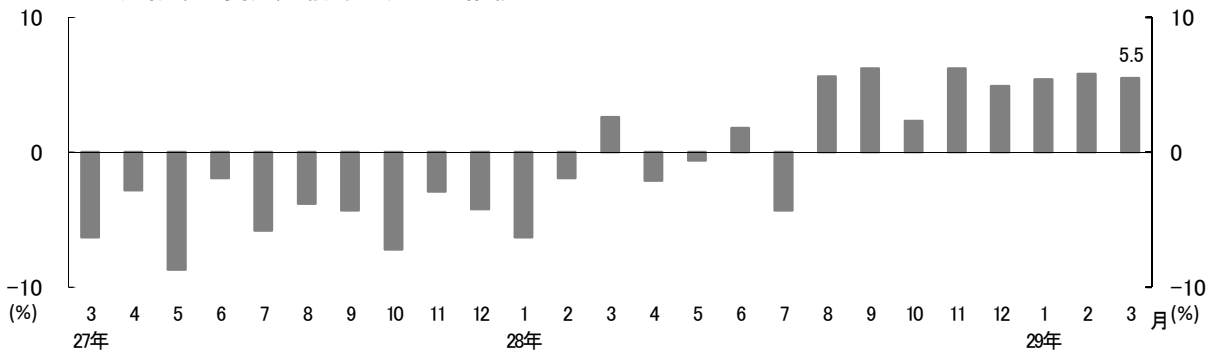
項目	平成22年=100		原指数	前年同月比(%)
	季節調整済指数	前月比(%)		
生産	97.5 ( 96.1 )	1.5 ( 3.6 )	103.9 ( 92.9 )	5.5 ( 5.8 )
出荷	102.0 ( 101.2 )	0.8 ( 3.5 )	109.5 ( 97.0 )	4.0 ( 5.0 )
在庫	109.8 ( 108.2 )	1.5 ( △0.1 )	101.6 ( 106.3 )	△4.0 ( △0.7 )

※( )内の数値は、平成29年2月分確報値

### 季節調整済指数の推移



### 生産指数(原指数)前年同月比の推移



※1) 季節調整済指数とは、原指数を季節調整(毎年季節的に繰り返される変動を取り除くこと)した指数のことで、原指数 ÷ 季節指数により算出します。  
 ※2) 原指数とは、生産等の基準数量(基準となる年の月平均の数量)に対する当月の数量の割合のことで、当月の数量 ÷ 基準数量により算出します。



長野県PRキャラクター「アルクマ」  
(盛州DCバージョン) ©長野県アルクマ



世界級リゾートへ、  
ようこそ。山の信州  
信州デスティネーションキャンペーン  
2017.7.1-9.30

しあわせ信州創造プラン(長野県総合5か年計画)推進中

企画振興部 情報政策課統計室 統計第一係  
 (室長) 武井 新彦 (担当) 番場 一吉  
 電話: 026-235-7070 (直通)  
 026-232-0111 (代表) 内線5118  
 F A X : 026-235-0517  
 E-mail tokei@pref.nagano.lg.jp

## 1 生産・出荷・在庫の業種別動向

		主な業種	季節調整指数	前月比 (%)	主な品目
生産	上昇 9業種	化学工業	87.0	25.7	医薬品
		電気機械工業	198.1	3.1	
		はん用・生産用・業務用機械工業	129.2	0.9	半導体・フラットパネル製造装置(生)
17業種	低下 8業種	情報通信機械工業	21.3	△ 23.1	
		食料品工業	103.6	△ 4.1	乳製品
		電子部品・デバイス工業	66.6	△ 4.3	電子部品

出荷	上昇 6業種	はん用・生産用・業務用機械工業	133.9	2.8	半導体・フラットパネル製造装置(生)
		情報通信機械工業	57.9	2.8	
		窯業・土石製品工業	97.0	2.8	
17業種	低下 11業種	電子部品・デバイス工業	62.8	△ 5.3	電子部品
		食料品工業	110.4	△ 2.0	乳製品
		化学工業	77.0	△ 7.8	医薬品

在庫	上昇 9業種	その他工業	151.9	16.2	その他の製品工業
		紙・紙加工品工業	190.6	18.2	
		はん用・生産用・業務用機械工業	59.4	4.9	
16業種	低下 7業種	電子部品・デバイス工業	116.3	△ 16.4	
		情報通信機械工業	92.7	△ 10.3	
		非鉄金属工業	106.5	△ 3.9	

※「主な業種」については、寄与度(全体に与える影響)の大きいものを掲載してあります。

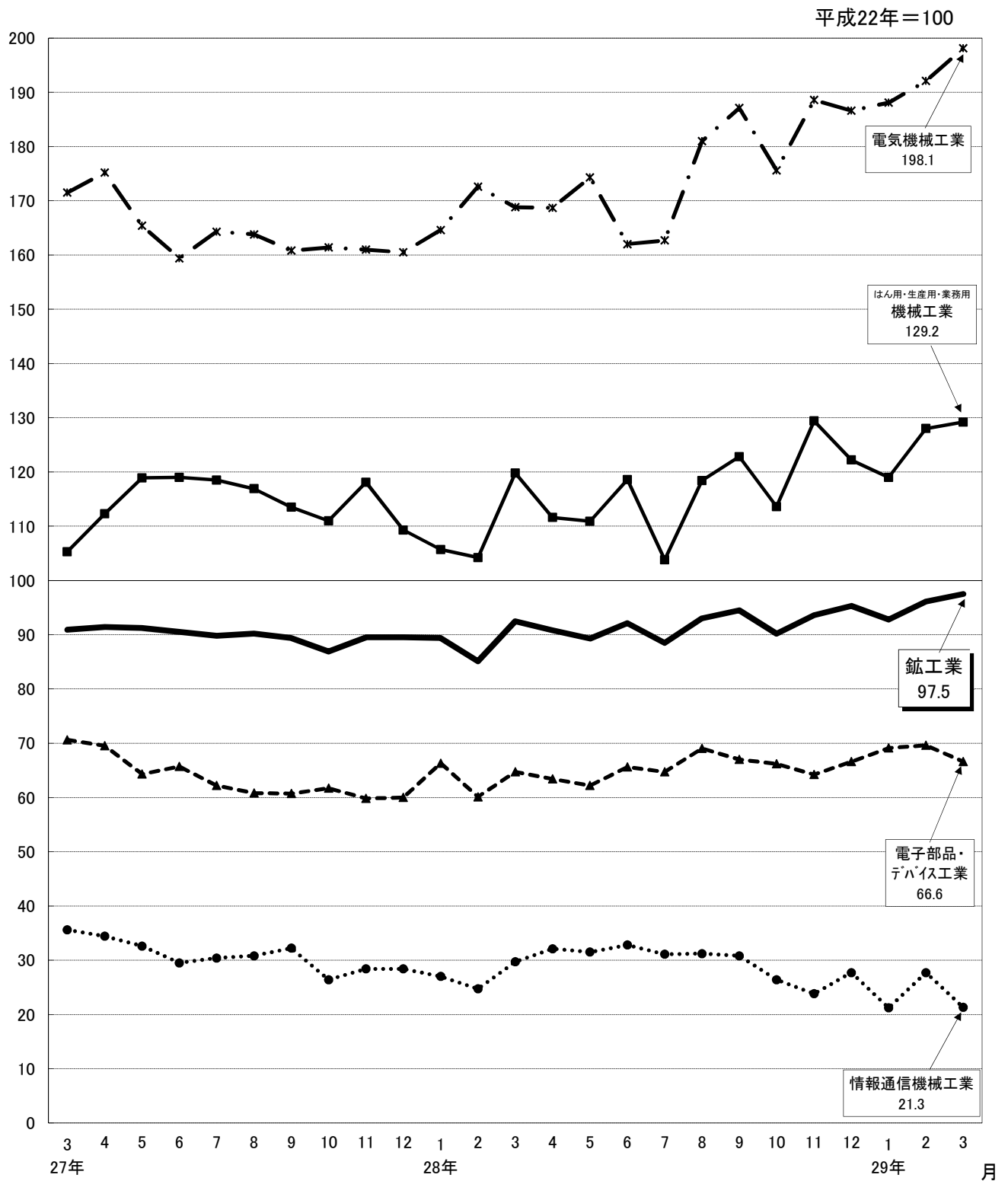
※「主な品目」については、対象事業所が少数の場合は掲載していません。

※前月比が横ばいの業種は業種数に含みません。

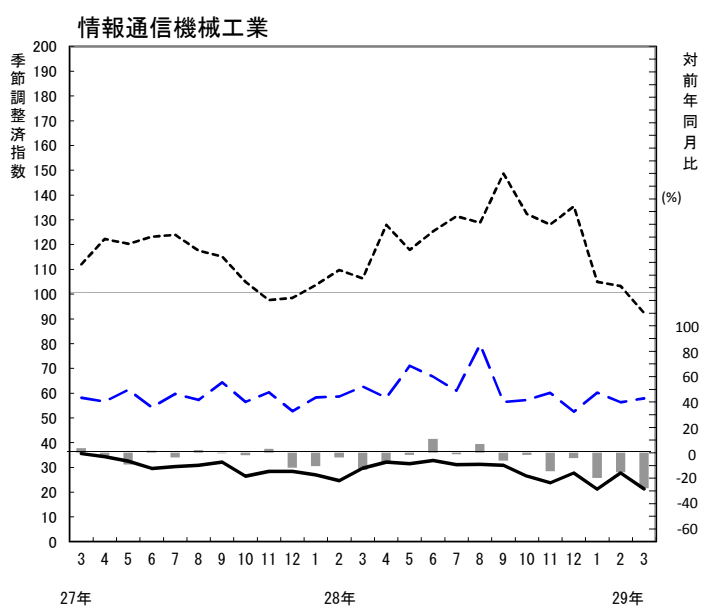
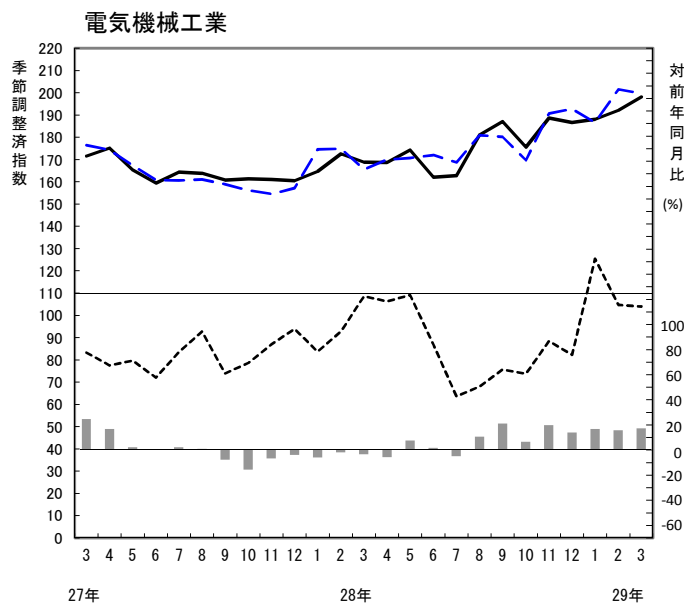
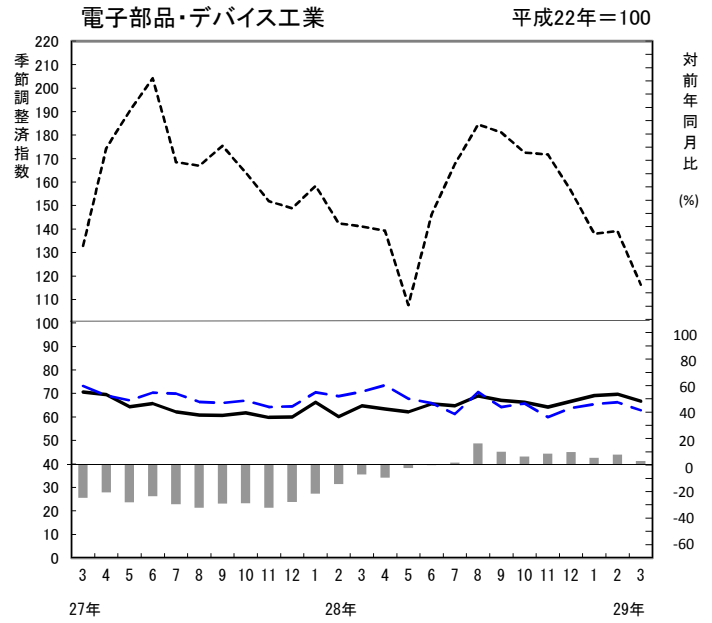
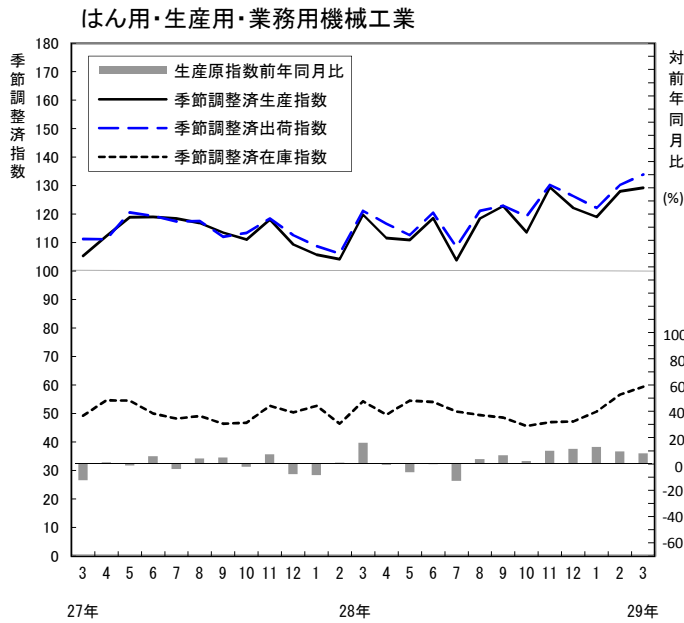
※「はん用・生産用・業務用機械工業」に係る、「主な品目」の( )内は次の区分によります。

(は):はん用機械 (生):生産用機械 (業):業務用機械

## 2 主な業種の生産指数(季節調整済指数)の推移



### 3 主な業種の生産指数等の推移



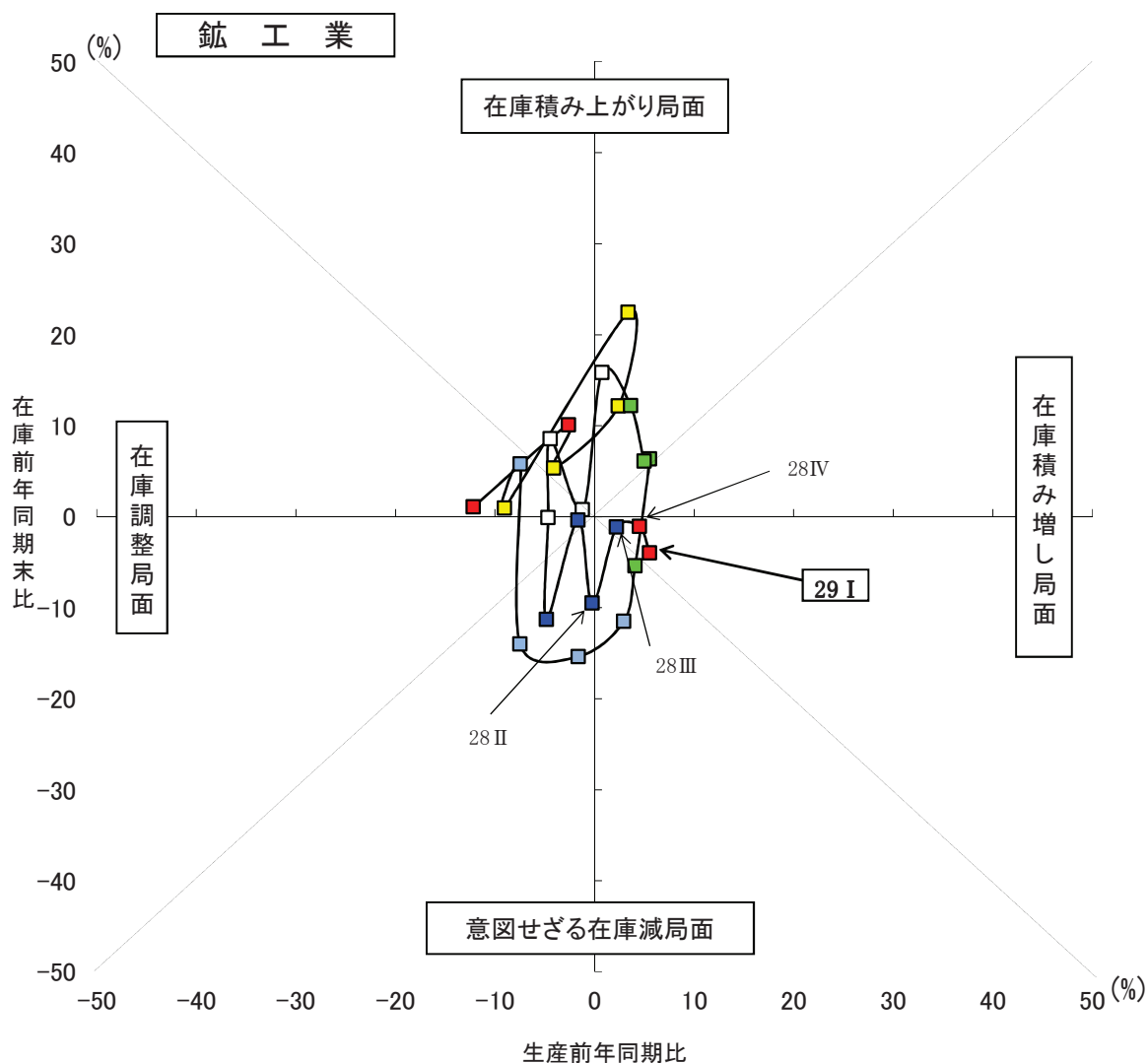
### 4 財別の動き(季節調整済指数)

平成22年=100

項目	最終需要財		投資財		消費財		生産財	
	指数	前月比(%)	指数	前月比(%)	指数	前月比(%)	指数	前月比(%)
生産	100.5 ( 98.3 )	2.2 ( 5.2 )	117.7 ( 112.6 )	4.5 ( 7.9 )	83.3 ( 87.8 )	△ 5.1 ( 7.5 )	93.8 ( 95.5 )	△ 1.8 ( 1.7 )
出荷	110.7 ( 107.9 )	2.6 ( 4.3 )	124.1 ( 117.5 )	5.6 ( 7.0 )	95.2 ( 98.6 )	△ 3.4 ( △ 1.5 )	92.8 ( 94.2 )	△ 1.5 ( 1.3 )
在庫	117.8 ( 109.5 )	7.6 ( △ 0.5 )	104.2 ( 99.2 )	5.0 ( 2.2 )	122.4 ( 114.3 )	7.1 ( △ 0.8 )	100.5 ( 105.3 )	△ 4.6 ( 1.0 )

※( )内の数値は、平成29年2月分確報値

## 5 在庫循環の推移(H23年Ⅱ期～H29年Ⅰ期)



**\*局面の見方**（生産と在庫について以下のような循環が見られることが多い）

- ・意図せざる在庫減局面（第一局面）・・・需要が予測を上回り、一時的に在庫が減少する。
- ・在庫積み増し局面（第二局面）・・・将来の需要増に備え増産し、在庫を積極的に積み増そうとする。
- ・在庫積み上がり局面（第三局面）・・・需要が予測を下回り、在庫が積み上がってしまう。
- ・在庫調整局面（第四局面）・・・減産を進め、積み上がった在庫を減らそうとする。

